



その他の脈管疾患 other vascular disease

1. 閉塞性動脈硬化症

arteriosclerosis obliterans ; ASO



類義語：末梢動脈疾患（peripheral arterial disease ; PAD）

概念

四肢の主幹動脈などに粥状硬化^{じゆくじょう}を生じ、慢性的に動脈硬化性の狭窄や閉塞をきたす疾患である。本書では下肢 ASO について取り上げる。下肢の虚血を呈して皮膚蒼白や感覚異常、疼痛、壊疽などをきたす（図 11.28）。基礎疾患として糖尿病や高血圧、脂質異常症、肥満などを有することが多い。

症状

60 歳以上の男性に好発する。下肢動脈の虚血による各種症状が出現する。日本では Fontaine^{フォンテイン} 分類が用いられる。

- ① Fontaine I 度：四肢末端の一過性の冷感、しびれ、チアノーゼや皮膚蒼白、Raynaud 現象もみられる。
- ② Fontaine II 度：間欠性跛行（p.178 参照）。
- ③ Fontaine III 度：安静時疼痛。足趾に激痛を伴う潰瘍を形成しやすくなる。
- ④ Fontaine IV 度：潰瘍、壊死。下肢切断を余儀なくされることもある。

安静時疼痛や潰瘍（Fontaine III 度以上）が持続するものを重症下肢虚血（critical limb ischemia ; CLI）という。

診断・鑑別診断

足関節と上腕の収縮期血圧比（ankle brachial pressure index ; ABI）が最も簡便で有用な検査である。0.9 以下で本症を疑う。鑑別診断としては Buerger 病（表 11.3 参照）や、間欠性跛行をきたす腰部脊柱管狭窄症があげられる。

治療

軽症（Fontaine I, II 度）では、抗血小板薬や血管拡張薬、運動療法などが主体となる。重症下肢虚血例では血管内治療（ステントなど）や外科的再建が行われる。

2. 糖尿病性壊疽^{えそ} diabetic gangrene



微小血管障害や動脈硬化症を背景として足趾や足底、手指に



図 11.28 閉塞性動脈硬化症（arteriosclerosis obliterans ; ASO）

軽微な外傷を契機として急激に深い潰瘍を形成した。

皮膚組織灌流圧（skin perfusion pressure ; SPP）検査

MEMO